

令和6年11月13日

南相馬市でのオンラインサロン実証活動に関するお知らせ

浜通り地域をフィールドとして、福島大学の学生が学年・学類を超えて、地域課題の解決を目指す「協働プロジェクト学修」の取り組みの1つ、南相馬市における子育て中の女性のキャリア形成支援検討プロジェクトが、この度、南相馬市こども未来部こども家庭課協力のもと、Ovice（オヴィス）を活用したオンラインサロンの実証活動を開始することになりました。2024年11月16日に南相馬市で開催される「こども未来フェスティバル2024」での特設ブースにてデモ展示を行いますのでお知らせいたします。

報道機関のみなさまにおかれましては、取材方よろしくお願いたします。

日時 2024年11月16日（土）10:00～15:00

会場 南相馬市民文化会館ゆめはっと（福島県南相馬市原町区本町2-28-1）

デモ展示ブース 施設内多目的ホール

展示内容 Ovice を活用したオンラインサロン「子育て広場」のデモ体験

参加対象者

子育て中の女性を主な参加対象者としますが、男性の方等、幅広い層の方々の参加をお待ちしております。参加は自由です。

主催 南相馬市こども未来部こども家庭課

参考 URL

<https://www.city.minamisoma.lg.jp/portal/sections/15/1510/15101/3/26532.htm>
↓

■オンラインサロンを用いた実証活動

子育て中の女性のキャリア形成の悩み等を話し合う、2回のオンラインサロンを開催予定です。

1回目：2024年12月中旬、2回目：2025年1月中旬

オンラインサロン「子育て広場」のイメージ



参加者が安心して話せるような場づくりとして、公園をイメージした環境を構築しました。焚火を囲む座談会の場や、ちやぶ台、カフェブースでの語らいの場、足湯ブースでの個人で相談する場など設計しています。

■本プロジェクトのポイント

本プロジェクトは、協働プロジェクト学修（※）の取り組みとして、担当教員と学生が連携し活動しております。協働プロジェクト学修では、南相馬市、大熊町、飯館村、川内村の4市町村をフィールドとし、地域の方々と協働した、復興プロジェクトに取り組んでおります。本プロジェクトでは、南相馬市における男女の人口比や、女性の就業人口割合が少ない現状に着目し、女性が地域において、よりよいキャリアを形成するためのサービス検討をテーマとし、2023年度より活動を開始しました。子育て中の女性のキャリア形成を支援するサービス検討のため、南相馬市こども未来部こども家庭課協力のもと、南相馬市内の企業や、女性当事者へのヒアリングを行い、どのような課題があるかを調査しました。

昨年度の調査の結果、子育て中の女性が悩みを安心して共有できる場に対するニーズが高いことを確認し、今年度は実現手段を検討してきました。自宅等から安心してつながれる環境構築にあたり、2Dメタバース環境のOviceに着目し、オンラインサロンのプロトタイプ作成と実証準備を進めています。

実証準備としてこのたび、南相馬市でのオンラインサロン「子育て広場」の実証活動のデモ展示を、2024年11月16日に「こども未来フェスティバル2024」で行うこととなりました。

本プロジェクトでは地域課題の探求活動を深める中、専門性を超えて、学生たちがメタバース環境を活用し、オンラインサロンの利用者がより良い体験が得られるような環境を研究する、新たな取り組みが始まっています。

※協働プロジェクト学修について

協働プロジェクト学修は（公財）福島イノベーション・コースト構想推進機構による「復興知」事業の「大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業」の一環として実施しています。

（お問い合わせ先）

地域未来デザインセンター 特任准教授 江尻綾美
研究・地域連携課 担当 阿部

電話：024-504-2865

メール：chi-kikaku@adb.fukushima-u.ac.jp